小学校

漢字の習得が苦手な児童への支援

児童・生徒の実態

書字が苦手、視覚優位、注意集中が持続しない、長期記憶に残りにくい。

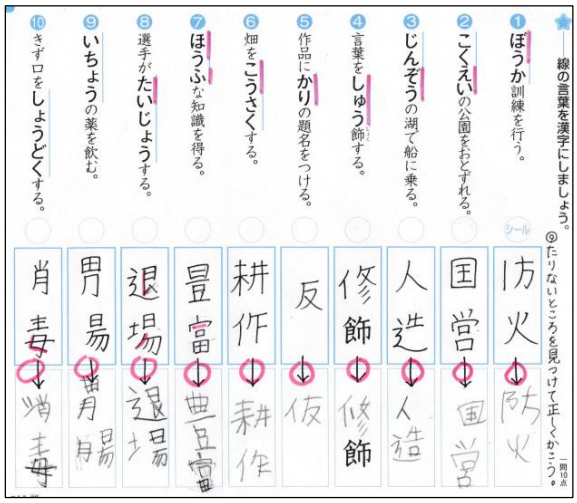
☆手立て・合理的配慮

- 漢字の情報を視覚的に捉えられるように、課題の漢字を主に部首に着目して、左右や上下等に分けてカードを作成した。（ラミネート加工しているため何度も消して使用できる）
- 既習の漢字に出てきた部首に気付くことができる。
- 部首に着目することで、漢字の意味理解にもつながる。

漢字組合せパズル

- 漢字テストで、間違えそうな画要素の一部分を消失させ、正しく完成させる。
- 答えの大部分が表示されているので、覚えた漢字を想起しやすい。

足りないのはどこ？



支援を受けてみて

- 知っている漢字の部分の組合せで新しい漢字も覚えられる。（本人）
- 何回も書いて練習するよりも、楽しく覚えられる。（本人）